

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2007-216428(P2007-216428A)
 【公開日】平成19年8月30日(2007.8.30)
 【年通号数】公開・登録公報2007-033
 【出願番号】特願2006-37106(P2006-37106)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/44 (2006.01)
 G 0 2 B 26/10 (2006.01)
 G 0 2 B 26/12 (2006.01)
 H 0 4 N 1/113 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/00 M
 G 0 2 B 26/10 Z
 G 0 2 B 26/10 1 0 2
 H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】
 【提出日】平成22年8月23日(2010.8.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

供給された電流量に応じた光量の光ビームを発光する光源と、
 複数の反射面を有する回転多面鏡であって、前記光源から出射されかつ前記反射面で反射された光ビームが感光体上を走査するように回転する回転多面鏡と、
 前記回転多面鏡の各々の反射面の走査方向上の幅を越えて前記回転多面鏡に光ビームが照射されるように前記光源から出射された光ビームを拡大するビーム拡大手段と、を備えた画像形成装置であって、

前記感光体上に照射される前記光ビームの目標光量を可変に設定する設定手段と、
 前記設定手段により第一目標光量が設定された場合には、前記感光体上に照射される前記光ビームの光量に関して走査方向上で略一定の光量を得る為の第一補正電流を前記光源に供給し、前記設定手段により第二目標光量が設定された場合には、前記感光体上に照射される前記光ビームの光量に関して走査方向上で略一定の光量を得る為の第二補正電流を前記光源に供給する電流供給手段と、を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】
 請求項 1 に記載の画像形成装置において、
D / A コンバータと、
転送データ数或いは転送クロックを指定する指定手段と、
前記指定手段によって指定された情報にตอบสนองして前記補正電流プロファイルのデータを、
前記 D / A コンバータに転送するデータ供給手段と、
前記データ供給手段から転送されたデータに応じて得られた前記 D / A コンバータからの出力に従い、前記電流供給手段に対して電流を供給する電流回路と、を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の画像形成装置において、
前記設定された目標光量が小さい場合は、前記設定された目標光量が大きい場合に比べて、前記指定手段により、前記転送データ数が多く指定され、或いは前記転送クロックが小さく指定されることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の画像形成装置において、
前記設定手段は、前記光ビームの目標光量をプリントスピードに応じて可変に設定することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の画像形成装置において、
前記プリントスピードは前記回転多面鏡の回転速度に対応することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像形成装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、光源から発光した光ビームを偏向して感光体を主走査することによって感光体を露光する技術に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明は、上述の点に鑑みてなされたもので、オーバフィールド光学系において、複数の走査光量に対応することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

本発明は、供給された電流量に応じた光量の光ビームを発光する光源と、複数の反射面を有する回転多面鏡であって、前記光源から出射されかつ前記反射面で反射された光ビームが感光体上を走査するように回転する回転多面鏡と、前記回転多面鏡の各々の反射面の走査方向上の幅を越えて前記回転多面鏡に光ビームが照射されるように前記光源から出射された光ビームを拡大するビーム拡大手段と、を備えた画像形成装置であって、前記感光体上に照射される前記光ビームの目標光量を可変に設定する設定手段と、前記設定手段により第一目標光量が設定された場合には、前記感光体上に照射される前記光ビームの光量に関して走査方向上で略一定の光量を得る為の第一補正電流を前記光源に供給し、前記設定手段により第二目標光量が設定された場合には、前記感光体上に照射される前記光ビームの光量に関して走査方向上で略一定の光量を得る為の第二補正電流を前記光源に供給する電流供給手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】